

公園再整備のワークショップ

小学校に隣接する公園の再整備のワークショップ（全4回）をお手伝いさせていただきました。予算内に収まる公園施設を考えたり、予算申請がうまくいかなかったときの優先順位まで考えたり！市民の皆さんと考える楽しいワークショップでした。

☆予算を念頭に置いたワークショップ！

この頃は、予算削減の中で、市民参加の予算まで入っている公園整備の案件は少ないようです。みんなで使う公園なのだから、市民の意見がたくさん入るといいなと思うのですが…。予算と市民参加。難しいバランスです。

今回は、公園施設を予算内に収めることを検討していただくだけでなく、なんと！削減案まで市民で考えるという、初めての経験をさせていただきました。

予算内に！ということすら、気が引けてしまう自治体の方もいらっしゃいますが、正直なところを説明して、一緒に考えたいという姿勢を自治体側が示せば、市民も理解してくれるということを目の当たりにできた、素敵な時間でした。

☆参加したメンバーは！

今回は、なんと！小学校が隣り合わせの公園。学校が開いている時間は公園と学校を仕切っているフェンスも開かれているそうです。なので授業の合間には、小学生が公園の遊具で遊んでいます。

ということで、キーマンのママとお子さんがお友達に声を掛けてくださって、にぎやかなワークショップとなりました。小学生の妹が行きたいというので、小学校OBの高校生のお兄ちゃんも参加してくださいました。

もちろん！地域の自治会の方や公園のご近所の方もご参加くださいました。

☆予算を考えるのは

予算内に収める！を考える回では、一瞬、きらっと目が光ったようで、みなさん、張り切って考えてくださいました。ワールドカフェで進めましたので、自治会の長老のアイデアが若いママたちに大歓迎されて、「ベンチはそのアイデアでいこう！」と盛り上がりました。

*市民参加は予算も考えてもらう！というのが自治では？と考えています。市民だって立派な社会人なので、今の財政状況だって分かっています。それをちゃんと説明して、予算内で優先したいことは何か？を合意していくことが、本当の市民参加では？どれだけ市民と課題を共有して一緒に悩むか？が大切だと改めて感じました。

